

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)  
平成28年度 研修ニーズアンケート  
教員・職員

●調査時期  
平成28年3月15日～平成28年4月11日

●発送数            74 件(校)

●回答数            51 件

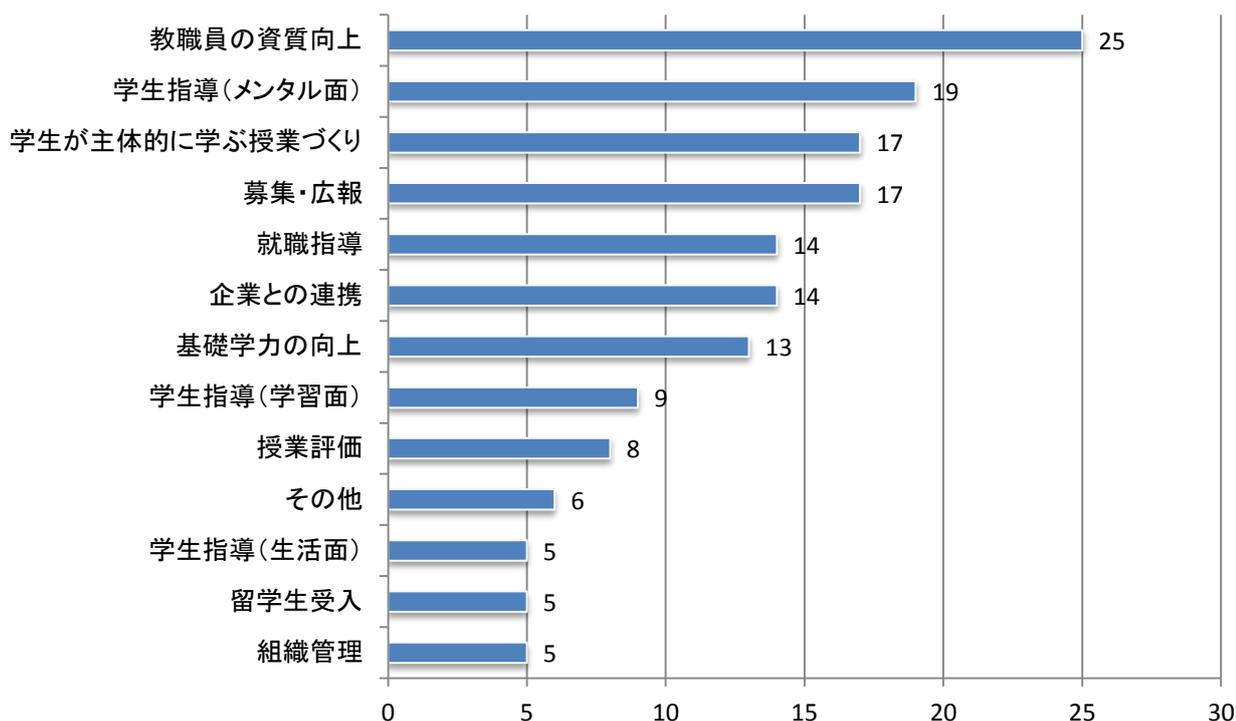
●協力校数        16 校

●回答率            21.6 %

問1. 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教職員の資質向上	25	49.0%
2	学生指導(メンタル面)	19	37.3%
3	学生が主体的に学ぶ授業づくり	17	33.3%
4	募集・広報	17	33.3%
5	就職指導	14	27.5%
6	企業との連携	14	27.5%
7	基礎学力の向上	13	25.5%
8	学生指導(学習面)	9	17.6%
9	授業評価	8	15.7%
10	その他	6	11.8%
11	学生指導(生活面)	5	9.8%
12	留学生受入	5	9.8%
13	組織管理	5	9.8%
	合計	157	-

※%の母数は回答者数(=51)、複数回答、回答の多い順に並べ替え



#### 【その他の回答】

- ・教務業務の効率化
- ・マナーについて
- ・デジタルツールのスキルアップ
- ・企業連携と同様に地域の中学校、高校及び自治体との連携
- ・非日常体験による意識改革・気づき
- ・授業内容

問2. 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■教員の教育力向上：教授法、授業の作り方、技術習得、教材開発など</b>						
1	学生・留学生に対する求人ニーズが高い技術を取り入れる情報収集or事例発表セミナー	①検定取得主体の授業から、逆に企業が必要とする技術が何であるか。 ②学び方、指導法 ③具体的に企業にアピールの仕方	具体的に地元の企業にターゲットを絞れる程度	教員 デザイン、情報経理	2日～3日	夏期
2	情報セキュリティ	環境の構築(実習機材) 教育内容	-	IT系教員	2日	8月
3	専門技術(新技術)ハンズオンセミナー	産業界で注目されている新技術の取得	業界で実用できるレベル	教員	3日	8月
4	学生が主体的に学ぶクラス作り	学生が主体的に学ぶ習慣作りのためのクラス運営能力向上に関する研修会	・授業に活用できる手法の習得 ・クラス作りの計画を作成できる	教員	2日	8月又は2月
5	IT系システム設計	新卒社員として求められるシステム設計の知識・技能を、実際に現場で取り入れられている方法にて演習形式で学ぶ。	同形式で授業導入、学生へ指導できれば良い。	該当項目の指導担当	1日～2日	7月～8月
6	プロジェクトマネジメント	座学形式、実際の教育現場での授業展開例、企業人	実際に自校授業に導入できる	会員校、教職員	1日～2日	夏期 8月頃
7	FD研修	-	-	-	-	-
8	3DCGVR(AR)	3DCGにおける技術のスキルアップ。また先を見据えた知識。	まずは現状を知る。授業で行えるかを検討したい。	CG系教員	1日～2日	夏休み期間
9	教育相談	・情報交換を目的とするディスカッション形式のセミナー(宿泊なし) ・講師による事例報告と講評	学生の居場所としての学校づくりをする。	教員	2日程度	6月
10	3Dプリンター研修	3Dデータの作り方から3Dモデルの出力までを体験する。	3Dモデルの出力をする。	教員	1日	8月
11	授業の作り方	理論的な内容になった場合でもどのような導入や流れを作ったら興味を持たせることができるか。	導入、課題設定、採点までの流れを作れる。	教員	1日	夏休み

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
12	アクティブラーニングの導入と評価	事例発表、意見交換、ディスカッション	・アクティブラーニングの理解 ・シラバスの作成ができる程度	教員	2日～3日	夏休み
13	ICT活用教材作成方法と教授法を学ぶ	教材作成方法と教授法を身に着ける	一人で作成し50分の授業内容	教員	1日	-
14	IoT実現用のプラットフォーム開発	アメリカ、ドイツの動き、日本における先進企業の動向	IoT今後の展開について学生に説明する	教員	1日	3月、3月下旬
15	業界の最新情報	学科に必要な業界の最新動向や技術、知識を学ぶセミナー	専門性の高いレベル	-	-	-
16	教授法	-	-	-	1日	夏期
17	教員の資質向上	教授法やグループワーク指導法などを身につけるセミナー	-	新人～中堅	半日	夏期
18	求人ニーズの高い技術のカリキュラム構築	企業の技術者から、学校に求めるカリキュラムの例や、具体的な教育プログラムの研修	新年度のカリキュラムに取り入れられるレベル	教員	1日	8月
19	教職員の資質向上	授業手法と学生が主体的になる授業運営	教員がみにつけるべき授業手法と、実践スキル	教員	1日～2日	2月・8月・12月
20	IT系プログラミング	比較的コンパクトに学べるプログラミング、システム開発の入門研修 ・Web系のシステム構築PHP、CSS、HTML ・iOS、Androidアプリ開発 など	同形式で授業導入、学生へ指導できれば良い。	該当項目の指導担当	1日～2日	7月～8月
21	建築CADの授業内容	・課題づくり ・カリキュラム内での位置づけ	初歩	-	2日	8月
22	授業教材開発・デジタル教材セミナー	・適切な授業教材の教授、事例発表形式。 デジタル授業ツールの使い方など。PC・デジタルタブレットなどの取り入れ方など。	事例発表・使用例の理解。初級レベルでの授業教材の採用レベル。	教員全般。	半日～全日	夏期

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
23	その他、業界動向や新技術、海外の教育事例などを知るためのセミナー	-	-	全教職員	1日	夏期休暇
24	専門分野の講座	学生に身につけさせるべきWeb関連知識とスキル	授業運営につなげられる。	教員	1日～2日	2月・8月・12月
<b>■学生指導：メンタルヘルスクエア（カウンセリング）、発達障害に対するケアなど</b>						
25	カウンセリング	ケーススタディ	-	-	1日～2日	-
26	学生指導（メンタル面）	発達障害などの問題を抱えた学生が多くなってきたため、その対応や専門施設等への橋渡しするための情報が知りたい	進路を決定させることができる	教員	1日	8月
27	発達障がいのある学生への対応	講義形式と実例	障がいを持っている学生が就職できる	教員	1日	8月
28	学生指導メンタル	学生ガイダンス手法	-	新任教員	2日	8月
29	カウンセリング	ディスカッションやグループワーク学生心理の講義等	学生面談で使用できるカウンセリングができるレベル	教員	1日～2日間	夏頃
30	学生指導（生活面）	心の悩み 知的障害の対応のマニュアルor発達障害	-	-	-	-
31	メンタル面で問題を抱えた学生への対応	心理学、教育心理学や心の病に関する基礎知識の習得、実践的なケースの対処例	メンタル面で問題を抱えた子（学生）へファーストコンタクトがうまくとれるようになる	担任	3日	一年中
32	メンタル面に問題を抱える学生の適切な接し方	先にテーマのデリケートな問題に教員という立場で出来ること、対応してよい範囲。その指導ノウハウを養う講座。	適切な範囲と指導法の理解	専任教員	1日～2日	8月
33	ゲームを応用した心の問題の見つけ方	ゲームを利用して学生と教員がコンタクトを取り合う方法について習得する	単な心の開かせ方	担任	1日	春
34	低学力とメンタルの関係性について	講義形式、教育系、心理系、両面から講義を頂ける先生	明日から役にたつレベル	教員	1日	8月or3月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■学生指導：学習面、基礎学力向上など</b>						
35	成績下位学生への授業	小学生～高校生で勉強につまずいた学生に対する指導方法。接し方。	—	—	—	—
36	学生が主体的に運営するオープンキャンパス	学生への働きかけ方・役割分担・待遇など	初歩	—	2日	8月
37	学生指導学習面	学力差があるクラスでの授業運営	—	中堅教員	2日	8月
38	専門技術習得向上のための基礎学力について	入試制度をどうしているか、入学後の基礎学力向上に向けてどう指導(授業)しているか等、他校の情報またはどう設定するのがよいか。	—	—	—	—
39	学習習慣をみにつけさせるには	講義とグループディスカッション 他校の事例発表	—	教員	1日	2月
<b>■授業評価</b>						
40	授業評価	授業評価の方法、結果の活用法について事例発表・セミナー		中堅	半日	夏季
<b>■キャリア教育、就職指導など</b>						
41	就職カリキュラムの構築	就活を成功させるまでの一連のシナリオと手法を学ぶ	カリキュラムとワーク資料の作成	担任・就職担当	1日～3日	8月
42	就職指導	講義とワークショップ	学生の就職への意識を高め、就職行動のプラン作りができるようにする。	教員	2日	2月
43	保育士、幼稚園教諭の現状と採用のポイント	保育士、幼稚園教諭の現状と採用のポイント 保育士、幼稚園教諭に必要な日本の子育て実態に関する情報交換や、採用における内定のポイント等の就職活動に関する研修会	・子育て事情を知る事ができたか ・就職活動の実態と採用のポイントを理解できたか	教員	2日	8又は2月
44	労働問題や日本の労働法について	・就職に力を入れるだけではなく、就職後の労働について学校で教育されないことがないので、学生・生徒を送り出す側として社会人になっていくにあたって労働法の知識や問題を学習させる。	・導入、課題設定、採点までの流れを作れる	教員	1日～2日	夏休み期間中
45	就職指導	就職活動をするための流れ、マニュアル	—	—	—	—

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■企業連携</b>						
46	企業連携について	学科での学びを実践する場の確保と運営方法について	運営のポイント習得と計画書の作成(計画書を元に行動できるレベル)	教員	1日～2日	2月・8月・12月
47	地域産業との連携事業の在り方	成功事例、実例事例の発表、評価の方法、教員の役割、必要なスキル	自校の専門分野、環境に合わせて連携事業の企画立案ができる	教員	1日～2日	夏休み
48	企業連携と授業計画	企業連携と授業計画・授業作りを取り巻く環境紹介や事例などを通じて学ぶ。企業人を招いての談話会など。	授業計画事例・実施例。企業意見が反映されるレベルなど。	教員全般	半日～全日	夏期
<b>■学生募集・広報など</b>						
49	広報・募集の成功事例や新しい取組や打ち出し方など	学校以外の企業も含めて、広報や募集PRなどで面白い取組や成功した事例を紹介	—	—	—	—
50	[学生募集研修会] 高校生ニーズ予測と検証※分野別テーマ	・今後の5年～20年などの時代の変化やニーズの変化予測と全国的な動き、先進的な募集活動などの事例を知る情報共有会。分野別に探るテーマなど。	2020年募集活動計画の遂行。業務別・業界動向の把握。中間管理職以上対象。	広報関係	半日～全日	夏期
51	募集	どうやって人を集めるか。体験入学を他の学校ではどうやっているのか	—	—	1日	8月
52	弱みを強みに変えるブランディングの研修	—	—	—	—	—
53	今どきの高校生に関して	高校生の特性や興味の最新事情	幅広く高校生の実態を知るレベル	—	—	—
54	SNSの活用、学生とのコミュニケーション、学生募集、広報活動の利用	若者のSNSの使い方、意識、リスクについて、広報利用の他校成功例、失敗事例	SNSの種類、他校の事例を知る	教員、広報担当者	1日～2日	夏休み
55	ベネフィットとは	マーケティングにおいて顧客のベネフィットを考える重要性について	—	管理者	半日	平日

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■学校運営全般：組織、会計、施設、安全管理など</b>						
56	セキュリティ対策	ウイルス対策、ハッキング対策	情報流出が防げる初級レベル	初心者	3日	年度はじめ
57	危機管理	・学校が直面する可能性の高い諸問題や備えておくべき事項について事例をもとに解説	・学校として整備が必要なものについて知識習得及びクレーム対応等の方法を身につける	教職員	2日	8月、11月
58	AIDMA、AISASの法則について	購買行動モデル(理論)に最適化するポイントについて	—	管理者	半日	平日
59	「教育の内容」を告知する方法	現在行っている広報活動の有効性を具体的に評価してアドバイスを頂くような内容	具体的な効果が出るレベル	教員	2日	8月or3月
60	学級経営能力の向上	・学生の現状把握 ・基礎学力不足の学生やメンタル面に対する学生指導法	・個々の学生を理解した上で、クラス運営や学生への対応ができる	新人、中堅	1日	夏期休暇
61	著作権	講義	—	—	—	—
<b>■業務推進能力向上、効率化など</b>						
62	中間管理職用の業務効率化の研修	—	—	—	—	—
63	マナー	電話対応、敬語、立ち振る舞い等	—	全員	—	—
64	マナー向上	言葉遣い、適切な対応、正しい文章作成を目指す、一般企業のマナー研修の形式	電話対応など基本的なマナーを身につける	事務職員	1日	夏期休暇
65	インバウンド・マーケティングとは	ソーシャルメディア活用などBtoC(高額商品対象の)ソーシャルメディア活用などBtoC(高額商品対象の)会社が知るべきWeb事例	—	管理者	半日	平日
<b>■その他</b>						
66	職業実践専門課程における企業との連携体制の実情について	情報交換を目的としたディスカッション形式のセミナー	—	—	—	—

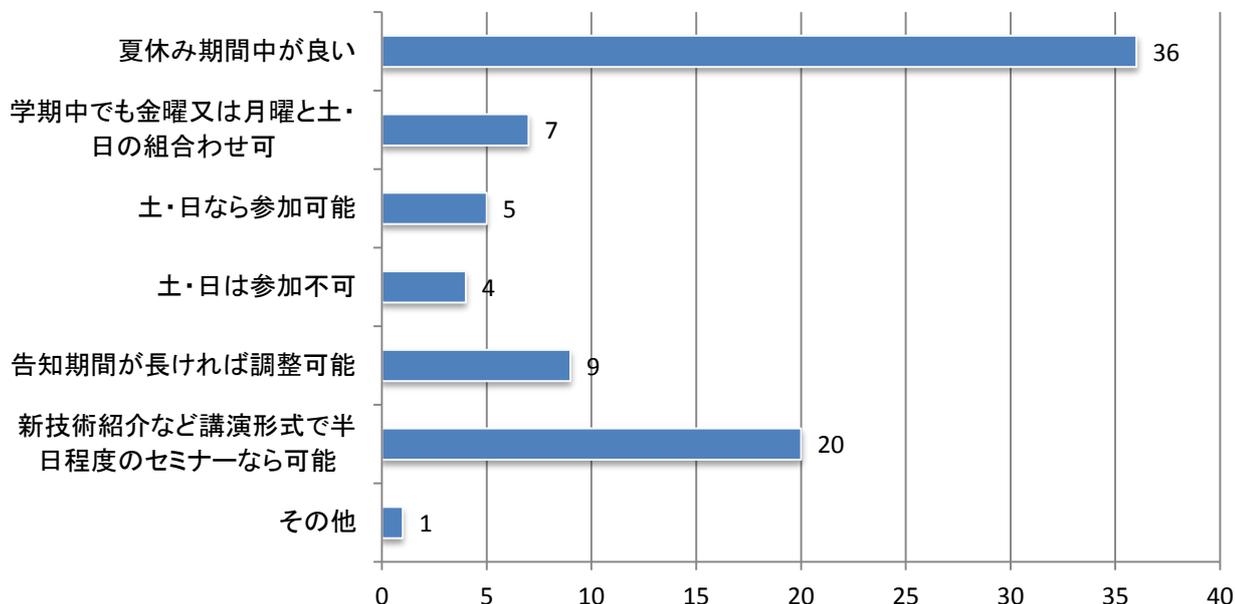
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
67	学校職員のメンタルヘルスケア	・職場でのメンタルヘルスケアと実践方法、リスクマネジメント	—	職員	半日	6月、7月、11月
68	表現に合わせてのメディアの選択	物づくり、制作物の展示に向けた手法の選択方法について知り思考する。	手法を知り目的に合わせた選択を行うことができる。	教員学生	5日	長期休み
69	実社会での最新メディアの検証	物づくりを学び指導するために必要と思われる最新メディアに触れる	より多くの教員や学生が最新メディアにふれることが出来たか	教員学生	1日	長期休み
70	困難な状況下においても人が過用することを体験する	ダイアログ・イン・ザ・ダーク 暗闇で一定時間過ごすことで普段と異なる感覚が重要であること体験する	資格が制限された状況でコミュニケーションの重要性	教員・学生	1日	8月、3月下旬
71	成績評価手法	—	—	—	1日	不問
72	カリキュラム効果測定方法	—	—	—	1日	不問

問3. パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

■研修次期について:

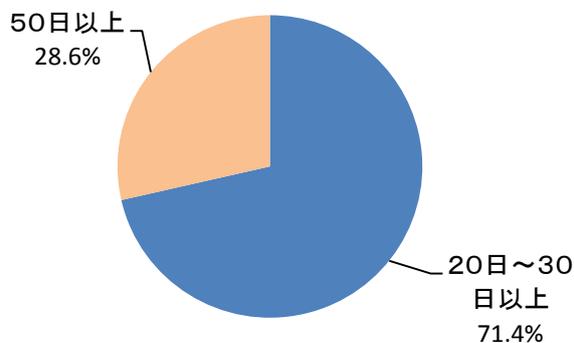
S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	36	70.6%
2	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	7	13.7%
3	土・日なら参加可能	5	9.8%
4	土・日は参加不可	4	7.8%
5	告知期間が長ければ調整可能	9	17.6%
6	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	20	39.2%
7	その他	1	2.0%
合計		82	-

※%の母数は回答者数(=51)、複数回答



◆”告知期間が長ければ調整可能”な場合、最低何日前の告知が必要？

S.No	項目	回答	%
1	20日～30日以上	5	71.4%
2	50日以上	2	28.6%
合計		7	100.0%

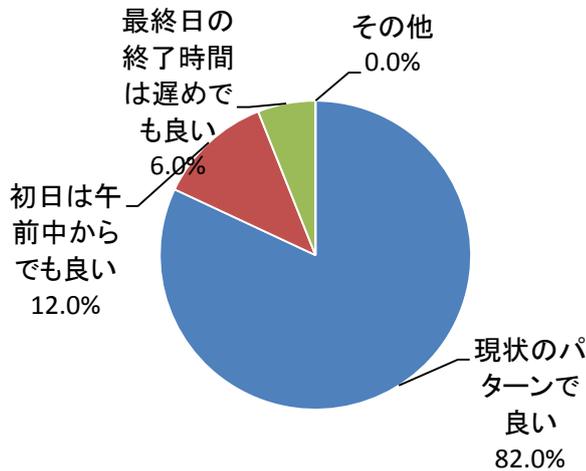


◆その他

- ・春期休業期間中,2月後半
- ・3月が可能性高し

■日程について:

S.No	項目	回答	%
1	現状のパターンで良い(初日:午後スタート、最終日:15時頃終了)	41	82.0%
2	初日は午前中からでも良い	6	12.0%
3	最終日の終了時間は遅めでも良い	3	6.0%
4	その他	0	0.0%
合計		50	100.0%



◆”初日は午前中からでも良い”場合、東京駅ベースで何時頃のスタートなら可？

・10時、11時頃

◆その他

- ・夏季休暇期間であれば、宿泊を前提に初日を9:30開始 最終日を17:00で実施してはどうか
- ・当校の立地条件からの視点になりますが、新大阪駅を7時に乗車すれば東京駅周辺の会場ならば午後6時くらいまでならば大丈夫かと思えます。

問4. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1		ICTを活用した授業風景、国内の小中高	-	1日～2日
2		北欧諸国の工芸教育現場と職場の見学	-	-
3	鹿児島県鹿児島市	アートプロジェクトについて	-	-
4	東京	東京の専門学校を視察し、他校がどのように情報収集して活用しているか見学	11月	1日
5	県の指定なし専門学校	成績入力システムに関する情報収集	8月	1日
6	3Dプリンターメーカー	3Dプリンターの導入リスク、3Dプリンターのランニングコスト	8月	1日
7	関西方面	大阪方面で活躍されている専門学校の学生募集動向と現状の視察	7月	1日
8	国内	映像制作(アニメーション含む)		1日程度

9	ゲーム開発メーカー	最新の機材と現場を見学したい	7月～8月	1日
10	竹尾ペーパーショー	大阪	開催期間中	-
11	福岡県 麻生建築&デザイン専門学校	新任教員の育成方法	5月頃	2日くらい
12	アメリカ	美術・デザイン教育カリキュラム	7月、8月頃	5日くらい
13	デザイン系専門学校(国内)	学生募集で成果のある学校見学の事務対応	8月頃	2日くらい
14	専門力教育に力を入れている大学数校	検討されている新学校種、職業専門大学に関する情報収集と今後の教育設計への意見交換	8月	2日
15	ロサンゼルス	最新技術を扱うスタジオ見学また現地の学校見学	-	-
16	海外の職業訓練校	教育・学生指導、教員研修、募集活動。カリキュラム開発、企業連携	8月～9月	7日
17	他地域の専門学校の視察は大いに興味あり	-	-	1日

**問4. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。**

- ・連携先企業がある程度確保されている学科と、難しい学科の隔たりがある。
- ・導入に向けた時間確保が難しい
- ・教育課程編成委員会の活用方法。
- ・ネットワークセキュリティについてのカリキュラムについて
- ・セキュリティ人材の育成方法
- ・実習環境の整備について
- ・連携企業との連携方法
- ・時間確保が難しい
- ・企業と連携した教員研修の機会が少ない。
- ・シラバス作成する時間がない。
- ・連携先業界団体の確保
- ・長期的に見た「企業と連携した教員研修」
- ・保護者や社会への周知が不十分なままではないか。
- ・企業と連携した研修の数を増やしたい。
- ・予算
- ・企業や業界団体との交流を拡大する。
- ・書類が多くて困っている。
- ・書類作成の多さに業務のほとんど費やされてしまうため効率化を図りたい。
- ・特になし
- ・企業とのコミュニケーションの時間確保がなかなかできない。
- ・地方の学校なので都市での現場とのつながりをもちたい。
- ・専門学校以外への制度の周知があまり広まっていないように感じる。
- ・学校周辺企業のタイプによりパターンが絞られてしまう。
- ・企業と連携した際の書類のやりとりの調整など授業と同時進行で実施するため、複数の会社を同時にやりとりする際、とても多忙になってしまう。簡素化したい。
- ・企業や団体をお願いしている委員の方も多忙で日程確保が難しい。
- ・本格的なデュアルシステムの導入において賛同企業の確保が難しい。
- ・企業担当の方々の日程調整が難しい。
- ・編成委員の選定・招致
- ・企業とのスケジュール調整
- ・通常の学校業務と新課程に伴う事務作業の時間的な調整
- ・学科としてのメリット
- ・学生の目指す業界の企業と連携した教員研修の機会が少ない。

**問5. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。**

- ・留学生が増加傾向にあるが、個々の日本語能力差が大きいため補習等の時間確保の必要性が生じる。
- ・教員の質向上(専門技術スキルUP)
- ・近年、通信制高校(サポート校)出身者が多くなっています。  
常時登校していなかった生徒であるため、毎日登校することや継続性の難しさ、過去の諸事情によるメンタル面の問題など、各校とも課題になっているのではないのでしょうか。
- ・問題を抱える(心、行動)学生が増えている。担任が一人に対応するのではなく、どうやってチームとして対応負担を分散させるか。
- ・発達障害などの問題を抱えた学生が多くなってきたため、その対応についてこまっている。

- ・IT系進学や就職を目指す高校生のニーズ（志望理由、期待すること など）
- ・外部へのPR方法が決定できない(安易なネット利用はしたくない)
- ・国家試験対策などでの効果的な授業構築の方法
- ・心の問題を抱えた学生に対し、日常、教職員が心がけるべき具体的な事項
- ・学生募集に関する、市場調査や営業戦略ノウハウの確立
- ・多方面へのケアが必要になっている、現在の軸のぶれない学生管理、ケア、保護者対応の方法が知りたい。
- ・心の問題を抱えた学生への対応方法
- ・3Dプリンターを授業導入した場合のリスクについて
- ・まだ学生と触れ合ったことがないので分かりませんが、学生の抱える悩みや心の問題からくるSOSのサインなど些細な変化に気づけるためにどのようなことを心がけるべきなのか、具体的な事項があれば参考にしたいです。
- ・学生募集要項などへの記載内容、伝え方、学納金や独自の奨学金制度の取扱い(退学時処理等)
- ・安定した学生募集計画の遂行と確立
- ・学生にいかに成功体験を与える機会や学校外への学習の機会を与えたいと考えるがシラバスなどで調整が難しい
- ・学生のケア(生活指導 etc)
- ・心の問題を抱えた学生に対してどのように対処すべきなのか具体的な方法(実践例)
- ・幅広い学生層がいる。障害のある学生の就職対策。出席、データ管理、簡素化できないか。学内の構造システムが複雑になっておりミスが出やすい。(見落としなど)
- ・心の問題や持病のある学生に対する接し方、指導方法
- ・心の問題を抱えたまま進学(入学)してくる学生が増加して健常学生との単一授業ではサポートに限界を感じる時がある。
- ・「担任力」が低い教員の指導力向上
- ・学生募集に関する「リード・ナーチャリング」と「リード・ジェネレーション」のノウハウの確立
- ・学生募集、具体的に表現しにくい「良いところ」をどのように告知、広報していけばよいか分からない
- ・授業や学生指導(生活面、就活)以外にコンテスト、クラブ活動、企業連携など業務が増える一方で教員のメンタル面が心配である。
- ・学生募集と教育力の向上
- ・教職員の採用、学生募集
- ・今現在の業界のニーズ
- ・授業の質の向上策と授業評価の在り方(個のスキル以外、体系化したい)